EKKグループの経営資本

世界中の各産業に欠かすことのできないグローバル・シーリング・ソリューション・プロバイダーとして、EKKグループ固有の製品・サービスを生み出す経営資本について説明します。その時代に応じた経営計画に基づいた最適な資本投下を通じて、永続的な成長を図ってまいります。

人的資本

連結従業員数（2025年3月末時点）
6,268名

うち研究開発関係者
188名

「愛情と信頼に基づく人間尊重経営」、「派閥の無い強固な団結による風通しのよい経営」に基づき、EKKグループで働くすべての従業員がその能力を発揮できるよう人財育成に努めています。
また、当社製品・サービスに関する研究開発はEKKグループの成長の源であることから、製品の付加価値と利便性を高めるべく研究開発を継続しています。

財務資本

株主資本
947億円

中期経営計画期間（2023～2025年度）
投資総額
約350億円

2024年度の売上高は1,681億円、営業利益は84億円と、グループ全体としては、売上・営業利益ともに前年度を上回る結果となりました。
EKKグループは5つのセグメントで事業を展開していますが、各セグメントの業容に応じて収益を補完するとともに本中期経営計画期間中において、主に半導体業界向け事業における新製品開発および新規拡販に向けた投資を行い、次世代の収益の柱を育てていく方針です。

自然資本

電力使用量
139GWh
前年対比:3.0%増

水資源使用量
420千m³
前年対比:6.3%減

EKKグループでは、事業活動における環境負荷の低減を目指し、ISO14001の認証を取得し、統一されたマネジメントシステムを運用しています。この環境マネジメント体制のもと、具体的な環境目標を設定し、環境パフォーマンスの向上に努めています。
EKKグループは、持続可能な社会の実現に向けて、カーボンニュートラルに向けたエネルギー使用量の削減、水資源の保全、産業廃棄物の削減に取り組んでいます。さらに、EKKグループの固有技術を活かした環境貢献型製品の開発にも積極的に取り組んでいます。これらの活動を通じて、より良い社会の実現を目指してまいります。

知的資本

特許保有件数（2025年3月末時点）
2,107件
（国内外EKKグループ全体）

研究開発費
3,582百万円

EKKグループの研究開発活動は、トライボロジー、材料工学、流体力学をベースとして、EKKグループのコア技術である分析・評価技術、精密・微細加工技術、数値解析技術を融合させた研究開発活動を行っています。
これらの研究開発等により生み出された独自技術、製品等の知的財産の保護管理に努め、市場における競争力の維持・強化を図っています。

製造資本

グローバル連結子会社
43社

連結子会社展開国数
20カ国

EKKグループは、設立以降、国内外の生産・販売拠点を拡充し、安定した品質のもとに各顧客に供給する体制を整備してまいりました。とりわけ、自動車・建設機械業界向け事業においては、世界各国での現地生産を進め、欧州、アジア各地域に生産拠点を設置し、世界中の各顧客の要求に応えられる体制を整備しています。また、一般産業機械業界向け事業は、2004年よりドイツのブルグマン社と合弁事業を展開し、EagleBurgmannのブランドを確立しています。

社会関係資本

各製品の販売先
約3,000社

仕入先・パートナー企業数
約1,300社

EKKグループのメカニカルシール・機器製品は、各産業において欠かすことのできない機能を提供していることから、多くのお客様に使用され、その占有率も各マーケットにおいて高いプレゼンスを示しています。
これら各製品を作り上げる原材料、加工等については多岐にわたる仕入先・パートナー企業との関係により成り立っています。